

NEWS RELEASE



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2021年5月18日

セブン-イレブンの移動販売車 『セブンあんしんお届け便』は10周年！

2011年5月に茨城県で開始、現在全国107台が稼働中

株式会社セブン・イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦、以下セブン・イレブン）が、お買物支援の取り組みとして全国で行っている本格的な移動販売『セブンあんしんお届け便』は、2021年5月18日（火）で運用開始から10周年を迎えることになりました。

『セブンあんしんお届け便』は、2011年5月に茨城県で開始して以来、全国のセブン・イレブン店舗へ導入を拡大し、現在1道2府35県、107台（2021年4月末現在）が稼働する移動販売サービスです。少子高齢化や人口減少、ならびに食料品販売店等の小売店舗をはじめ様々な拠点数の減少といった社会環境の変化を背景に、多くの地域で、日常のお買物に対して不便・困難を感じておられる方が増加しております。また、新型コロナウイルス感染が継続している中、不要不急の外出自粛や在宅勤務の広がり、生活必需品である食料品や、日常生活における使用頻度の高い雑貨等を、より身近な場所で購入したいという方もいらっしゃいます。セブン・イレブンでは、店舗での商品・サービスの提供に加えて、日々のお買物にお困りの方々への支援として、『セブンあんしんお届け便』を展開しております。

今後も、店舗における商品・サービスの拡充だけでなく、お届けサービスや移動販売を通じて、地域の皆様にとってより「近くて便利」なお店を目指してまいります。

記



『セブンあんしんお届け便』イメージ

■『セブンあんしんお届け便』移動販売先の一例



■移動販売車の主な特長

- ◆ 移動販売専用車両として独自に開発
- ◆ 常温（加工食品や雑貨）、20°C（おにぎり等の米飯類）、5°C（サンドイッチ等のチルド商品）、-20°C（アイスクリーム等）
4温度帯の販売が可能
- ◆ 機動性の高い四輪駆動車（軽自動車）



■販売商品

おにぎりや弁当、サンドイッチ等のデイリー商品をはじめ、
ソフトドリンクやカップ麺等の加工食品、アイスクリーム・
冷凍食品、日用雑貨等。〔合計 約150アイテム〕
品揃えは地域のニーズに応じて、加盟店が決定します。

■『セブンあんしんお届け便』の歩み

時期	取り組み内容
2011年5月	お客様のお買物支援に向けた本格的な移動販売『セブンあんしんお届け便』をセブン・イレブン常北下古内店（茨城県）にて開始
2012年2月	積雪寒冷地に対応すべく、北海道にて移動販売車に初めて四輪駆動車を採用
2017年6月	全国で50台が稼働
2019年11月	全国で100台が稼働
2021年5月	『セブンあんしんお届け便』開始から10周年

《ご参考》

セブン・イレブン店内で購入した商品や電話などで注文を受けた商品を、ご自宅や指定の場所にお届けするサービス『セブンらくらくお届け便』に使用する車両はCO2の排出を抑えた環境にやさしい超小型電気自動車『コムス』や、電動アシスト自転車等を活用しています。



【超小型電気自動車『コムス』】

- ・100%電気自動車。走行中のCO2や大気汚染物質の排出ゼロ。
- 環境にやさしいエコでクリーンな車両
- ・ご自宅のコンセント（100V）にケーブルでつなぐだけで簡単に充電。
- 約6時間でフル充電でき、市街地走行で50km程度の走行が可能

643台稼働

以上